

(7月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
はくさい		5,759	98	6,247	53	113	57	-	-	長野産中心の入荷で全体の約8割を占める。茨城産は6月で終了。長野産が中心になることで価格は上向いてくる見込み。
キャベツ類		16,628	98	15,671	63	111	68	-	-	群馬、岩手産中心の入荷で全体の約8割を占める。月前半は千葉産が終了するため価格はしっかりするが、下旬には急増が予想され価格の低迷が心配される。
ほうれんそう		1,246	97	1,125	498	100	573	0	-	岩手、群馬を中心に入荷。今年は猛暑となれば北の産地に偏り、価格は平年よりも大幅に高くなる見込み。露の雨が多くてもやはり価格は高めに動く予想される。
ねぎ		4,132	100	4,115	338	89	294	3	0.1	国産では、茨城中心の入荷で全体の約6割を占める。昨年同様、主力茨城産が遅れ気味。7月の入荷量は前年並、価格は高値だった前年を下回る見込み。
レタス類		9,016	100	8,775	104	91	117	-	-	長野産中心の入荷で全体の約8割を占める。7月前半まで供給過剰の状況が続くと予想される。後半は量的に落ち着きを取り戻し価格は平年並に戻ってくると予想される。
きゅうり		7,805	98	7,602	214	103	236	273	3.5	福島を中心とする東北産が市況をリードする。4月、5月の天候不順で、定植が遅れて少なかった前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。
なす		4,680	98	4,178	243	105	290	-	-	群馬、栃木等の関東産が市況をリードする。今年は定植遅れが影響して昨年を下回る見込み。価格は前年を上回る見込み。
トマト		8,234	100	8,399	285	91	257	382	4.6	群馬を中心とした関東産の後半ものと青森を中心とした東北産が市況をリードする。今年は、全国的に作付けの減少が目立つ。全体の入荷量は少なめであった前年並、価格は前年を下回る見込み。
ピーマン		2,103	95	2,210	267	105	293	-	-	茨城、岩手産中心で全体の約9割を占める。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を下回る見込み。産地のばらつきは大きい。
ばれいしょ		4,976	103	5,375	184	87	134	-	-	静岡、千葉、長崎産中心の入荷となる。九州産は7月上旬を目処に順調に切れ上がる。関東産は当初ほど不作でなく小玉傾向であるが、品質は良く安定している。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は高値だった前年を下回るが平年より高めの見通し。
たまねぎ		8,902	103	10,015	113	90	87	-	-	佐賀、兵庫産中心の入荷で全体の約7割を占める。全国的に小玉傾向である。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を下回る見込み。